

名谷水泳クラブ「いるか」

(兵庫水泳協議会)



1982年7月、神戸市北須磨地区の新興住宅地で、遠くの水泳教室へ送迎していた親たちが、近くの北須磨文化センタープールをベースにして、子どもたちに水泳を教えようと結束してつくられたクラブです。

「地域から泳げない子をなくす」「商業ベースや勝利至上主義とは一線を画して、何時でも誰でも同じ条件で参加できる開放的なクラブにする」「一般のスイミングスクールではどうしても泳げるようになれない子供や大人、営利主義の画一的レッスンに不満を持つ人達などに対しても個別の事情に応じた教え方を考えて実行する」「不足しがちな親子の対話を重視し、原則として親子で参加する」という方針のもとに運営されています。この方針を貫くため、クラブ内で指導員を育てるとともに、指導部会の上に運営委員会を設け、指導員主導に陥らない運営を目指しています。

現在、小学1～6年生の子どもに水泳4種目を教えています。親子で入会してもらい、子どもも一親、親も指導員の対話を重視した行事(ハイキングや花見、キャンプなど)も行っています。

水泳だけではなく、子どもの健全な成長を手助けできるような指導を心掛け、子どもが指導員を信頼できるような、子どもも指導員の関係を維持することを重視しています。(長竹孝夫さんより)